

遅まきながら・・・

T・I

今年のはじめに寄稿しようと思いながら、もう2月の後半に入ってしまいました。遅まきながらですが、とりあえず、本年もよろしく願いいたします。

さて、昨年はカムバック組を含む大量の新加入者をお迎えすることができました。Y・Yさん、Aさん、Iさん、Kさん、Sさん、全員即戦力。T・Aさんを失ったことは残念でしたが、ここ何年かの状況からは想像もできないすばらしい年になりました。そこで課題はテナー。いかにMさんが強力だとはいえ、そしてベースの某氏が人知れず支援してくださっているとはいえ、何とか仲間を増やしたいものです。

今年のコーラルフェストは私のチョンボから参加できず、本当に申し訳ないことをいたしました。しかし、今年は「センター祭」があります。6月17日の日曜日で、今回に限ってのことと思いますが、教会側の事情で展示関係の団体とは別の日に、ステージ関係だけが独立して行われますので、これまでとはちょっと様子が異なることになりそうです。そこで、わずか20分という短いステージですが、ミニコンサートの位置づけで取り組んではどうかと思っています。つまり、聴いてもらえそうな方にこれまでより積極的に声をかけてはどうかということです。選曲もこれからですが、いろいろなご意見をいただきたいと思います。そして、「センター祭」への取り組みのその先に、演奏会を視野に入れておこうと思います。演奏会については様々なご意見があると思いますが、目標のひとつに設定したいと思います。



楽譜について。本来、市販されているものを使うべきだと思っています。しかし、全曲を練習の対象にしない場合がほとんどなので、今のスタイルを考えたわけです。そして、大分前から提案していましたレパートリーとして定着させたいものを冊子体にするという案ですが、今年は具体化しようと思います。実はこの愛唱曲集の第一集の表紙もY・Yさん作っていただいています。印刷はIさんをお願いしました。あとは中の曲を皆さんにお諮りして作成にかかるという段取りです。

今年はまだたく還暦を迎える方が出ます。そして、現役リタイア組も急増しています。ということで、今までよりは「ゆとり」を持って合唱を楽しめる方が増えるのかも知れません。その「ゆとり」が音楽の質の向上につながるとういいですね。私個人としては予定通りにことは進んでいないので、もうしばらく各方面にご迷惑をおかけすることになりそうなのですが、皆さんのご意見やご希望を踏まえながら、皆さんの「ゆとり」をうまく活かした活動にできるといいなと思っています。とはいうものの、あまり具体的な考えがあるわけでもないの、いろいろなご提案をお願いします。

つい最近、朝倉さんが、発足して10年ごろまでの演奏会の録音をCDに入れたものを送ってきてくれました（「ゆとり」のおかげ?）。なつかしい曲や声が聴けたことありますが、今改めて聴くと当時とは違った聴き方ができて、正直のところちょっと目が潤んでしまいました。しかし、それはそれで過去のこと、今は今のすばらしいメンバーの横浜室内合唱団を心ゆくまで楽しみたいと思っています。T・Yさんもある程度の頻度で来ていただければいいので、ピアノ曲も今まで以上に楽しめそうです。これまで蓄積してきた横室ハーモニーの美しさに一層磨きをかけるべく、そして、ひとりひとりが心から満足して過ごせるような充実した2時間にしたいものですね。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

皆さんからのご意見をお待ちしています。今年は「きかん紙400号」までいくと思います。記念特集も考えています。ご協力をよろしく願いいたします。

（写真は、小石川後樂園で撮りました。M）

